



TITLE:

「光る電車」

羽野萌衣
東京都立文京高等学校

私は高校生になって電車を使うようになりました。空いているところに乗りたいとは思いますが、毎朝空いていそうところを探すのは大変です。そこで、一目で分かるようになればいいなと思いこれを考えました。これは、電車の混み具合を色の変化によって乗客に知らせるというものです。人がたくさん乗っている車両では人々の熱気で熱くなります。その熱エネルギーを利用して電車が光るという仕組みになっています。

①色の変化は5段階で表される。



②夏と冬では同じ人数でも温度がかわってくるので、基準となる温度をそれぞれ設定できる。

これを使うことによって以下のことが考えられます。

- ・乗客は空いている車両を一目で選ぶことができ、今よりも快適に乗ることができる。
- ・1つの車両に集中してしまうことがなくなるので、通勤・帰宅ラッシュ時などの乗り降りによる遅れが緩和される。
- ・人々の体温などによる熱をエネルギーに変えるので、新たな電気の使用を防ぐ。

今よりも電車の利用が嫌ではなくなり、光っている電車を周りから見るのも乗る楽しみになるのではないかと思います。

